



「今の方が、父兄も教員も、大変そう、これからどうなることやら……」

わたくし、真田定子の今まで

わたくしは昭和四年大阪南田辺で、三番目の子供として誕生しました。姉、兄に妹の四人の兄妹でした。父は大阪市役所に努め、子供への教育には熱心でした。わたくしの子供の頃に早く亡くなりましたが、母も父の遺志を引き継ぎ、特に男である兄へは大いに期待をし養育しました。その結果、兄は天王寺中学、浪高、東大と進み、両親の望みをかなえました。わたくしも姉が行った阿倍野高等女学校に進み、卒業後何とか頑張り、小学校教師になり、東京文京区の真砂小学校でも勤務することが出来ました。その後も、教員一筋で生涯をまっとうしました。

夫は早稲田大学理工系出身で日野自動車に勤務していました。結婚後はお互いに仕事に邁進し、仕事中心に生活し、子供も作りませんでした。夫は最後、日野自動車の本社勤務となりました。兄が来宅した時に、二人で早稲田の応援歌を「バカダ、バカダ……」と歌い、楽しんでいたことを懐かしく思い出します。

わたくしは、担当科目は国語でしたが、教科書を作るグループ活動に参加し、東京書籍などの教科書会社とも付き合うようになり、子供たちのご両親はじめ、教員仲間色々な人たちとの交流をはぐくみつつ生きてきました。